



平成25年 6月 25日

発行者 栃木県養護教育研究会
会長 二ノ宮 秋蔵
編集者 栃木県養護教育研究会事務局

退任にあたって

栃木県養護教育研究会
会長 二ノ宮 秋蔵

教員生活38年間の締め括りの2年間で栃木県養護教育研究会の会長という要職を任され、その重責を大過なく終えることに深く感謝し、お世話になった県内の関係者や小・中・県立学校の養護教諭の皆様方に心から御礼申し上げます。

さて、猛威を振るう自然災害や感染症の発生、或いは、世界経済の動向等、人類が安全で安心した生活を営むことが、昨今の大きな課題になっていることが危惧されているところです。教育の現場では、次代を担う児童生徒自身が自らの未来を力強く切り開くことが求められています。この多様化・深刻化している社会構造の変化に対する健康教育の重要性は無限大に推移するものと考えています。此処に、如何に学校が適切な対応ができるかが求められ、養護教諭として行う児童生徒やそれらを取り巻く関係者への「健康相談」や「健康指導」の重要性が指摘されているところです。年々、養護教諭の執務は複雑多岐にわたり、多忙を強いられ、自己の管理すら儘ならない現状の中にも拘わらず期待は大きいものがあります。学校における養護教諭こそ、児童生徒からの要求は多い筈です。対応のプロであり、生き生きとした子どもたちを育てなくてはならない存在であり、信頼を一手に受けやり甲斐のある職種です。やっていることに自信と誇りを持つということは、悪戦苦闘しながらも、少しの歩みを目指して最後まで諦めない常に一所懸命な姿です。養護教諭には色々なことが求められます。学校の大きな柱であることを自覚し、此のこのために、此の人のために、此の子のために「何とかしたい」の気持ちを大切に職務に励んでください。

最後に、関係者の協力によって開設した栃木県養護教育研究会公式ホームページの活用と、10年振りに改訂した「養護教諭の執務の手引」の活用により、会員の皆様がますます御活躍されますことと本研究会の御発展を心からお祈り申し上げます。本当に有り難うございました。



(2)

地区だより（上三川地区）

上三川町立上三川中学校 手塚 光江

上三川地区は、小学校 7 名、中学校 3 名、県立学校 1 名の 11 名の会員で構成され、県内で最少人数の地区です。小教研や中教研における研修は宇都宮地区と一緒に活動していますが、上三川町学校保健会としては年に 3 回の研修会を開いています。

第 1 回目には、毎年、町の健康課と情報交換をし、生まれてから死ぬまでの一生を通して、地域保健と学校保健がスムーズに繋がるために、地域保健との連携を図っています。

第 2 回目は、「私たちの執務の中で基本的な事を学ぼう」ということで、「保健室の常備薬品について」学校薬剤師の小平知生先生に講話をしていただきました。講話に先立ち、各学校の保健室にある薬品について調査し、それを基に薬品の効能や注意事項などについて学びました。また、新しい商品についての質疑応答などもあり、和やかな雰囲気の中研修が進められました。



第 3 回目は、「新教育課程と学校保健」について、河内教育事務所の手塚洋指導主事による講話でした。平成 24 年度から中学校も新教育課程の完全実施となり、私たち養護教諭も保健指導をするに当たり、他教科や他分野とのつながりをきちんと研修したいという希望から実施されました。今回は主に改正後の変更点にポイントを置いて研修しました。

全国養護教諭連絡協議会「第 18 回研究協議会」に参加して

高根沢町立西小学校 小松 範子

平成 25 年 2 月 22 日（金）に東京のメルパルクで第 18 回全国養護教諭研究協議会に参加して参りました。内容は、①特別講演「日本人の忘れもの—寅さんに学ぶ」（静岡理工科大学教授：志村史夫先生）②基調講演「健康教育の推進と養護教諭の役割」（文科省健康教育調査官：岩崎信子先生）③フォーラム「東日本大震災から学ぶ養護教諭の専門性と役割とは」（岩手、宮城県の小中高 3 名の先生方）です。

まず、特別講演ですが、寅さんに惚れ込んだ志村先生は、寅さん研究の第一人者？で、寅さんの立ち居振る舞いから、現代の日本人が失いつつある「人と人との繋がり、生き方」についてお話をしてくださいました。皆さんもご存じの映画のお話をもとに（なんと！先生は、様々な場面の台詞を憶えていらっしょるとか・・・）、昭和時代の日本人と現代の日本人の人間関係を比較検討しながら、ユーモアを交えて熱く語り、時間が経つのも忘れさせてくれました。

次に、基調講演では、学校保健安全法を軸に私達の執務が展開されている事、そして、それを踏まえ「法的根拠」をしっかりと捉えた上で日常の執務を展開してほしいとの話でした。学校保健の課題は多種多様化してきており、それに乗り遅れないための研鑽が大切であることを痛感しました。

最後に、フォーラム（これが私の一番の目的でした）は、被災地の 3 名の先生方から、震災当初の保健室の様子を具体的にお話がありました。保健室が地域の救護室に変わり場所によっては診療所化した様子、搬送される患者、感染症予防対応、医者との連携等から、学校職員としての任務をどう進めたのか・・・未曾有の災害の中での 3 名の先生方の動きを聞き、一人で何役もこなさなければならない現状とどう向き合うかを考えさせられた時間でした。

これらの話の栄養と参加者 1092 名の仲間の気をいただき、心新たにスタートしようと思います。



常任委員を終えて

鹿沼市立さつきが丘小学校 上田 恵子

常任委員として、本部役員の方々や他地区の先生方と共に、委員会や研修会の運営そして地区とのパイプ役として充実した2年間を過ごすことができました。

秋季研修会(H24)では栃木県総合文化センターでの会場当番地区として、上都賀地区の先生方とこれにあたり、先生方の協力と連携により、心地よい達成感を感じることができました。

「養護教諭執務の手引」の発行では、地区内で購入を取りまとめていただき、先生方のお手元に届けることができほっとしています。また、栃木県養護教育研究会HPも立ち上がりました。充実した地区情報を掲載するところまで出来ませんでした。今後さらに充実していくことと思います。

役を引き受けて、学び感じた事は沢山ありますが、その中でも『養護教諭の絆』を強く感じながら、常任委員を終えることが出来ました。ありがとうございました。



しろたえ編集委員を終えて

那須烏山市立下江川中学校 田代 文恵

栃木県養護教育研究会の編集委員として平成23年度～24年度の2年間、研究誌「しろたえ」の編集に携わらせていただきました。今回初めて編集委員となり、責務の重さを感じつつ、学校での執務の傍ら仕事を進めることは大変でしたが、無事完成したしろたえを手にした時、感じる重みに何とも言えない達成感が心に満ちあふれたものでした。また、1冊の研究誌ができあがるまでの過程に繰り広げられる、陰ながらの努力と苦勞を学び、さらに、先輩養護教諭の先生方から繋がる熱い思いは、長い間絶えることなく脈々と受け継がれているすばらしさを強く感じさせられました。執筆された先生方、お忙しい中、快く原稿依頼を受けてくださりありがとうございました。

私自身何と言っても、他地区の先生方との交流・情報交換等の機会が持てたことが大きな収穫であり、かけがえのない財産となりました。貴重な経験をさせていただき感謝申し上げるとともに、養護教育研究会のより一層の発展をお祈り致します。



調査研究委員を終えて

栃木県立足利高等学校 青山 純子

2年間調査研究委員として多くの方々と接することができ、貴重な時間を共有できたことを感謝申し上げます。今回の研究テーマは「養護教諭が行う健康相談」でした。今までは何となく行っていた健康相談でしたが、研究を進めていく中で、自分に不足しているところはどこなのか、気付く部分が多くあり、研究と言うよりは、自分にとって大切な勉強でした。

ややもするとマンネリ化に陥ってしまう日常の執務を、立て直してくれたのは定例の委員会です。出席するたびに、事務局の方々には頭の下がる思いでいっぱいになると同時に、自分自身の甘さを反省しつつ、「明日も頑張ろう」と元気にしてくれる委員会でした。お世話になりました。

(4)

栃木県養護教育研究会ホームページについて

平成24年4月から、栃木県養護教育研究会のホームページを開設しました。

各種資料や、研修会の連絡など、先生方が必要な情報を随時アップしていきます。

たくさんの方に見ていただき、活用できるホームページを目指して運営していきたいと思っておりますので、会員の皆様の閲覧をよろしく願います。

なお、各地区のパスワードでログインいただくと、資料等のダウンロードができますので、ぜひご活用ください。また、ホームページの活用について、地区の常任委員さんを通して、ご意見をお聞かせください。



(ホームページ担当 阿由葉)

おすすめします！

こんな本・教材



「ヘタな人生論より徒然草」

萩野 文子 著 河出文庫

複雑な現代社会！迷い、価値観を整理し、大人の古典としてもう一度「徒然草」に親しんではいかがでしょうか。

専門書に飽きたとき、「生活のヒント」があり楽しくなることでしょう。

(本部 阿美)

「ルポ・発達障害 あなたの隣に」

下野新聞新書

保健室にはたくさんのお子どもたちが来室します。その中には発達障害で学校生活に戸惑いを感じている子がいるのではないのでしょうか。

この本は発達障害を理解し、支援するためにとっても参考になると思います。

(本部 堀江)

第2回レベルアップ研修会の開催について

昨年度新設し、2回目となるレベルアップ研修会ですが、今年度も下記の通り開催いたします。詳しい内容は後日お知らせいたしますが、今回も日常の執務にすぐに反映できる内容を計画しています。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

- (1) 期 日 8月 22日(木)
- (2) 会 場 栃木県立博物館 講堂
- (3) 参加費 1人 500円程度(予定)

